

◆ 軌道運送高度化事業として行う措置

(1) 軌道の延伸と環状運転化

(2) 新型車両の導入

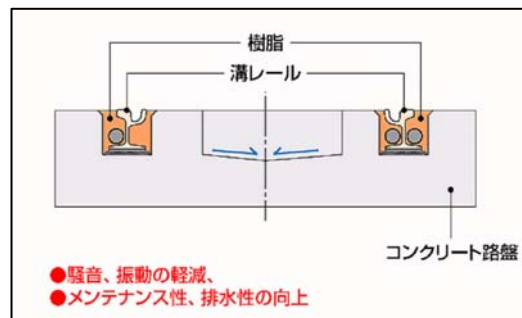
加減速性能に優れ、利用者の乗降に配慮した低床式、低振動、低騒音等快適な乗り心地で、街の景観との調和を考えたデザイン性に優れた車両を導入。



(導入車両イメージ) ※車両カラーは未定

(3) 制振軌道の導入

騒音や振動を抑制するため、レールを樹脂で固定する制振軌道を導入。



(4) 停留場のハイグレード化

スロープの設置、ホームと車両との隙間解消などのバリアフリー化。

また、風雪よけの側面付の屋根やベンチの設置、運行情報をリアルタイムで提供する表示器の設置など乗車待ちの負担を軽減。

更に、停留場のデザインにおいても統一化を図り、都市景観に配慮。

停留場イメージ



(富山ライトレールインテック本社前)



(万葉線広小路)